

## 事業評価の フォローアップ

JHPでは、2008年度に設立15年を期に学校建設の事業評価を行いました。報告書は2008年度活動記録集P.19～65に掲載し、最終章に提言をまとめました。以下は、各提言に対する取り組みの状況です。

### ① 支援校モニタリングシートの整備

#### ② 校舎状況の数量化

モニタリングシートを使用し、建設後半年、1年、2年、3年及び10年以上の学校に対し評価を行いました。今後数年データを集めることで、校舎の質の善し悪しを、例えば地域毎、年度毎、建設業者毎などで判断する事ができると考えます。

### ③ 中途支援の校舎フォロー

今年度はチグダイ中学校の未完成校舎を支援しました。他の学校と同様、建設後半年、1年、2年、3年のモニタリングを行い、3年後の校舎の状況次第で、それ以降のモニタリング頻度を判断すれば良いと考えます。

### ④ 教室以外の施設のモニタリングの徹底

本年度は利用状況について観察する時間を取れませんでした。次年度可能な限り行います。

### ⑤ 校舎補修のボランティア活動について

本年度の実績はありません。引き続き可能性を探ります。

### ⑥ 教師の労働条件改善に向けたアドボカシー活動

本年度のアドボカシー活動の実績はありません。

### ⑦ 衛生支援の充実とフォローの徹底

カンボジアの教育省でも衛生指導は力を入れ始めたようで、数多くの学校で敷地に散らかるゴミが少なくなったと感じます。ただしトイレの使用については課題があり、乾季に水がなくなったり、生徒や先生が外で用をたしている姿をよく見かけます。JHPでは、学校建設前の最終協議において、地元民、教育局、学校関係者に衛生教本による指導を行っています。井戸についてはRDI(Resource Development International - Cambodia)という団体に水質検査を依頼し、その結果を学校に伝えています。結果次第では水を飲料用として使用しないよう指導しています。

### ⑧ 学校間の情報共有に向けた当会の役割

モニタリング時にも不衛生な学校があれば、模範となる学校を紹介しています。

## 建設後の状況 (モニタリング)

～ビームロー中学校建設後の状況から～



### ① 調査時の状況

2棟10室の高床式校舎を建てて欲しいとの要望書が届き、2008年4月に調査を行いました。ビームロー中学校の高床式校舎既存校舎のうち、1962年築の教室棟2棟の老朽化が著しく進んでいました。また、この学校は高校も擁する学校のため生徒が非常に多く、教室が不足。敷地は雨季になると冠水するため、高床式の新校舎が必要と判断しました。

### ② 建設の状況

高床式1棟5教室の校舎とトイレ1棟3室を建設、2009年6月に完成しました。

(→ 下段「校長と児童からの感想」参照)

また、このモニタリングの一環として、3月に代表小山内が理事佐伯と共に、1泊2日でシアヌークビル県の97年からの14校を視察、プノンペン市では94年からの8校を視察し、ドナーさんへ報告しました。

### 建設後のフォローアップの一環として、ビームロー中学校の学校長と児童から感想を聞きました



クン・チェイム校長  
60歳

古い校舎は床のどこどこに穴が開いていて、生徒がつまずき怪我をしたことがありますが、新校舎は安全で、使いやすいです。しかし教室はまだ足りておらず、古い校舎をまだ使用しています。現在も2部制で運営しているため、国の基準である週32時間のカリキュラムのうち24時間しかこなせていません。新校舎は毎週月曜から土曜まで、一日に二回生徒と先生で掃除して、清潔にしています。副校長を一名責任者として置いています。



ティエック・サブ  
14歳 中学2年生

この校舎の教室で勉強していると、風が通りやすいので涼しく快適です。また、新しい机と椅子は勉強しやすいです。トイレも高床式で、校舎と繋がっているので便利だと思います。

### <2009年度(平成21)年度学校建設事業の実績>

支援学校名	生徒数	教員数	支援内容				建設理由		
			校舎棟	室	トイレ棟	室			
プレイベンクン小学校	690	33	1	5	1	4	125	1	老朽化校舎建替
バカオ中学校	490	16	1	5	1	3	125	1	老朽化校舎建替
ビートヌー小学校	1,285	25	1	5	1	4	125		老朽化校舎建替
ドーンベン小学校	220	4	1	5	1	4	125		教室不足解消
ドーンチュム小学校	466	11	1	5	1	4	125		老朽化校舎建替
ビームロー中学校	2,774	125	1	5	1	4	125	1	老朽化校舎建替
スラップクダオン小学校	129	3	1	4	1	4	100	1	老朽化校舎建替、不完全校から完全校へ移行
チュレス中学校	320	18	1	3	1	3	75		教室不足解消
バベット中学校	564	31	1	6	1	5	75		教室不足解消
ワットモンコルカラム小学校	420	12	1	5	1	3	-	1	老朽化校舎建替
バタンバン教員養成学校	460	48	1	10		4	250		教室不足解消
バオットセイモン小学校	460	10	1	4	1	3	100	1	3部制を2部制に解消
スワイサカウ小学校	403	28	1	5	-	-	-		老朽化校舎建替
スドックロー小学校	530	7	1	5	1	4	125		老朽化校舎建替
スラチーニエン小学校	227	6	1	5	1	4	125		老朽化校舎建替、教室不足解消
タングーン小学校	100	3	1	4	1	3	100	1	老朽化校舎建替、新敷地に建設し、利便性改善
コントマー小学校	433	7	1	6	1	4	150	1	老朽化校舎建替
トームケリ小学校	620	9	1	4	1	4	100	1	教室不足解消
カーボー小学校	565	21	2	8	1	3	200		老朽化校舎建替、教室不足解消
ロー小学校	282	9	1	5	1	3	125	1	教室不足解消
チグダイ中学校	455	15	1	5	-	-	125		未完成校舎の完成支援
合計	11,893	441	22	109	18	70	2,400	10	

※ 井戸数にはスラチーニエン小学校の溜池を含む



## 教育支援(音楽)

バタンバン県ワークショップ 新モデルプロジェクトの様子

### プロジェクトの概況

2009(平成21)年度は、プレイベン県の33名の音楽教員が2年間のトレーニングを修了し、各学校で音楽授業が始まりました。また、本年度で第6回となった音楽コンテストにも初参加し、普段の音楽授業の成果を発表しました。

本年度より、音楽教員育成トレーニングの新モデルとして、バタンバン県にて、9日間、60時間での音楽トレーニングを開始しました。参加した約150名の教員は、現在各学校で音楽授業を実施しています。

**2009年度までの音楽普及の成果として、152校(小学校113校、中高14校、教員養成学校25校)で、当会のトレーニングを受けた教員が、音楽授業を行っています。**



音楽授業の様子 カンダール県クダコイ小学校

### 音楽ワークショップ

プレイベン県で2年間の音楽トレーニングの全日程が終了し、新たに33名の音楽教員が誕生しました。また、第1回目の地域インストラクター育成トレーニングに引き続き、第2回目のトレーニングを開始しました。本年度は、2年間トレーニングを修了した教員の中から、より音楽教育に意欲と関心のある15名を参加者として選びました。トレーニングの講師はいずれもヒム・サヴィー氏(JHP契約講師・王立芸術大学所属)が中心となって務めました。

### 小学校教員養成学校の音楽教育モデル作成

現在の小学校教員養成学校の指導カリキュラムの音楽の時間数を考慮し、60時間の音楽指導カリキュラム案を作成しました。内容は、リコーダーがカンボジアで一本約2ドルで購入可能となり、今後普及しやすいであろうと考えられるので、ソプラノリコーダーの指導を中心としました。

このカリキュラム案は、新たなモデル地域に選んだバタンバン県のコダルドンティウ中学校周辺の小中高等学校の教員を対象としたトレーニングで試用しました。2010年度もこのカリキュラム案の内容を改良し、よりカンボジアに音楽教育が根差すような内容にしていきたいと思います。(写真上)

### 現職教員対象 トレーニング(新モデル)

音楽教員育成トレーニング新モデルとして、バタンバン県の地域を限定したトレーニングを実施しました。対象校は、コダルドンティウ中学校周辺の小中学校25校で、教員、教育局スタッフなど計150名を招待しました。

このトレーニングでは、講師として過去にJHPの音楽トレーニングを修了し、その後**地域インストラクタートレーニングも受講した3名の音楽教員が実習を兼ねて指導しました。**また、JHPが作成した小学校教員養成学校の音楽指導カリキュラム案のテキストについて、指導者や参加者から意見を聞き、今後の改善点を確認することができました。

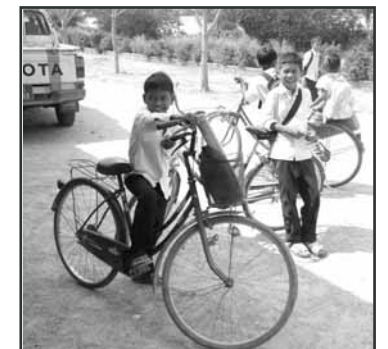
尚、本事業は(財)日本国際協力財団より助成を受けました。

### 現職教員対象トレーニング(既存モデル上級)

2008年度に初級トレーニングを修了したプレイベン県小中学校教師33名を対象として上級トレーニングを実施しました。トレーニング内容は初級よりもレベルが上がり、参加者にとっても難しかったようです。しかし、音楽教員はとても熱心にトレーニングに励んでいました。

### 音楽授業実施状況の調査

6～8月にかけて、音楽授業実施調査、また外国曲生徒用教科書贈呈のため、13の小学校教員養成学校(PTTC: Primary Teacher Training Center)、中学校教員養成学校(RTTC: Regional Teacher Training Center)を訪問しました。



楽器調査にて タケオ県オンタソウム小学校